

芸 振

大分県芸術文化振興会議会報

も く じ

文化考 秋吉辰郎	1
芸術文化基金の現状	2
対象別募金状況と実績	3
58年度・芸振総会、事業計画	4
57年度決算、本年度予算、大分の文化財	5
第19回県芸術祭、開催要項	6
本年度芸振役員・事務局員名簿	7
大分県演劇のあゆみ・文化ニュース	8

発行人・挾間正年 編集人・秋吉辰郎

No.59 58・7

文化考

大分県芸術文化振興会議
事務局長

秋吉辰郎



森本哲郎氏が「生きがいへの旅」のなかで、次のようなことをいっている。

「フランス人がもし「テレビ、セットの台数や、チャンネル数は精神生活の貧しさと正比例する」と考えるなら、テレビの普及率は彼らにとっては、むしろ文化水準のマイナスの指標となろう。」

このことは、ある国の人たちにとっては、テレビの普及率がプラスの指標になりうることを暗示している。文化についての共通の基準は設定しにくいのである。計量化できないものについてはなおさらのことである。いろいろつきつめていくと、価値観の問題になってくる。

1953年のオイル・ショックを契機に、高度経済成長への反省がなされ、人間性の回復が求められた。つまり人々の意識や行動は「もの」の豊かさとともに「ところ」の豊かさを志向するようになった。文化の果たす役割が見なおされたのである。

ところで、文化とは何なのか。なんとなくイメージとしてはわかるような気がするが、具体的な定義づけは困難である。

岩波国語辞典の「文化」の項を引いてみる。

- 1 世の中が開けて生活水準が高まっている状態。
- 2 人類の理想を実現して行く精神の活動。技術を通して自然を人間の生活目的に役立てて行く過程で形作られた生活様式およびそれに関する表現。

第2の定義がいわゆる芸術活動とか文化財とかの領域にあてはまる。それに対し、第1の定義は人間の衣食住すべてにかかわる生活の問題としてとらえられる。だとすると、「文化」とは「もの」と「ところ」が統合された世界を—そう高めることだといえる。

文化レベルがどれだけ高まったかの判断の尺度として「美しさ」はもちろん、「ゆとり」、「思いやり」、「オリジナリティ」、「シンボル性」、「歴史との結びつき」、等が考えられる。近ごろよく耳にする「amenity (快適さ)」も無視できない。従来の固定化された基準としてより、文化の「視点」として柔軟にとらえたほうがよさそうだ。

ともあれ、日常生活に関連のある生活文化(定義1)の広がり、文化の基盤を横に広げ、学問・芸術など高度の文化(定義2)は縦に文化を高めていくというように理解できる。

広がりが高まりの調和性こそ文化振興の望ましい姿といえよう。



江藤 明 (国画会)

芸術文化基金

目標達成に向

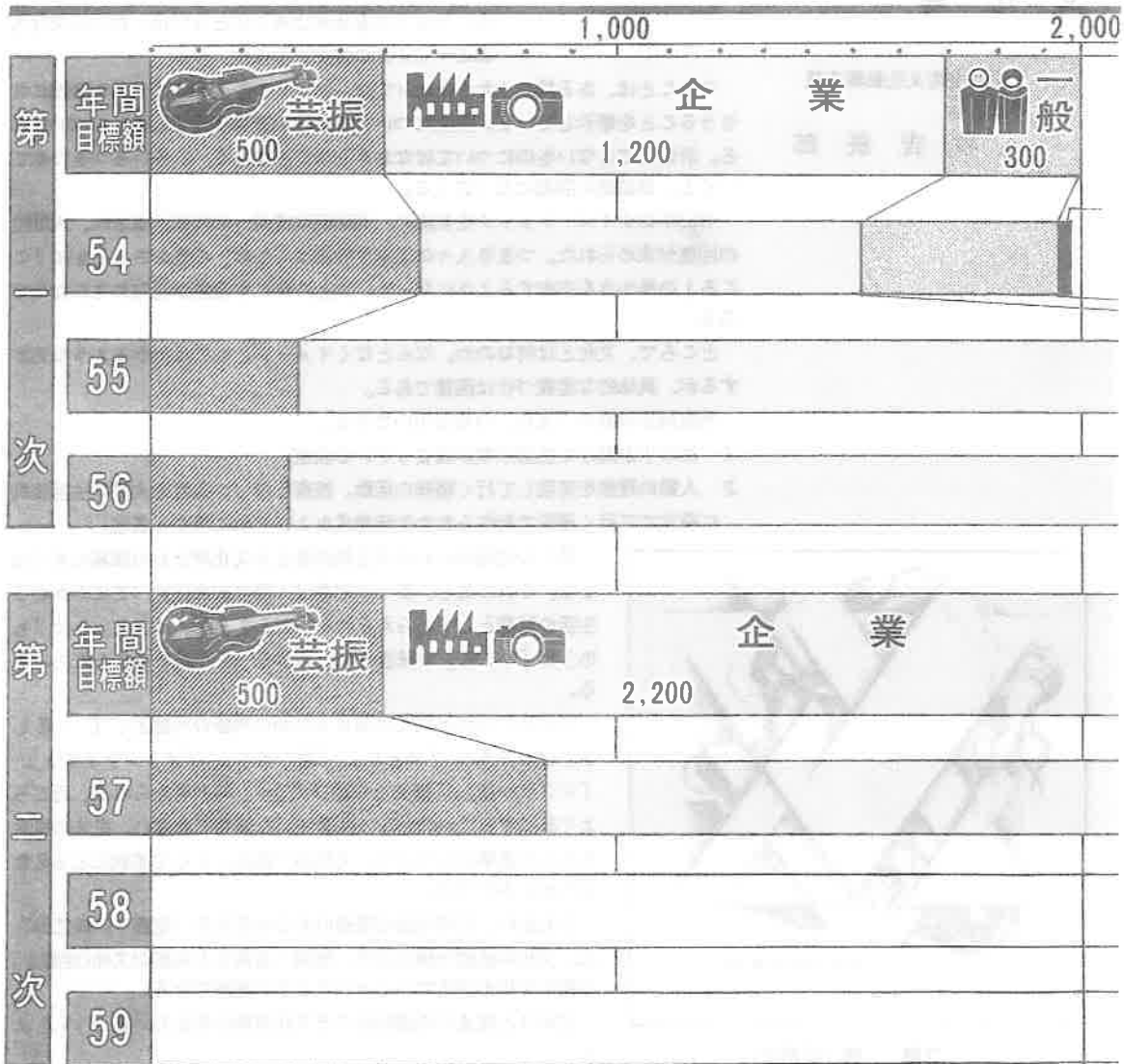
大分県芸術文化の振興と発展の基盤を確立するために「大分県芸術文化基金」が設立され、促進協力が充足してから5カ年が経過しました。

前半の第1次3カ年計画（昭54～56年）も終了し、第2次3カ年計画（昭57～59年）も2年目を迎えています。第1次計画は、関係者の積極的な募金活動と企業による大口の寄付、更に県立高校の教職員をはじめ一般県

民各位の募金に支えられて、達成率138パーセントという好成績を収めることができました。とりわけ、55年度の企業関係の募金活動では、目標額の2.4倍の実績をあげ、この実績が分割納入の形で57年度まで引き継がれてきました。

第2次3カ年計画の初年度は、景気の冷え込み等の悪条件が重なり、目標額3,000万円に対して86パーセント

芸術文化基金



けて ラストスパート!

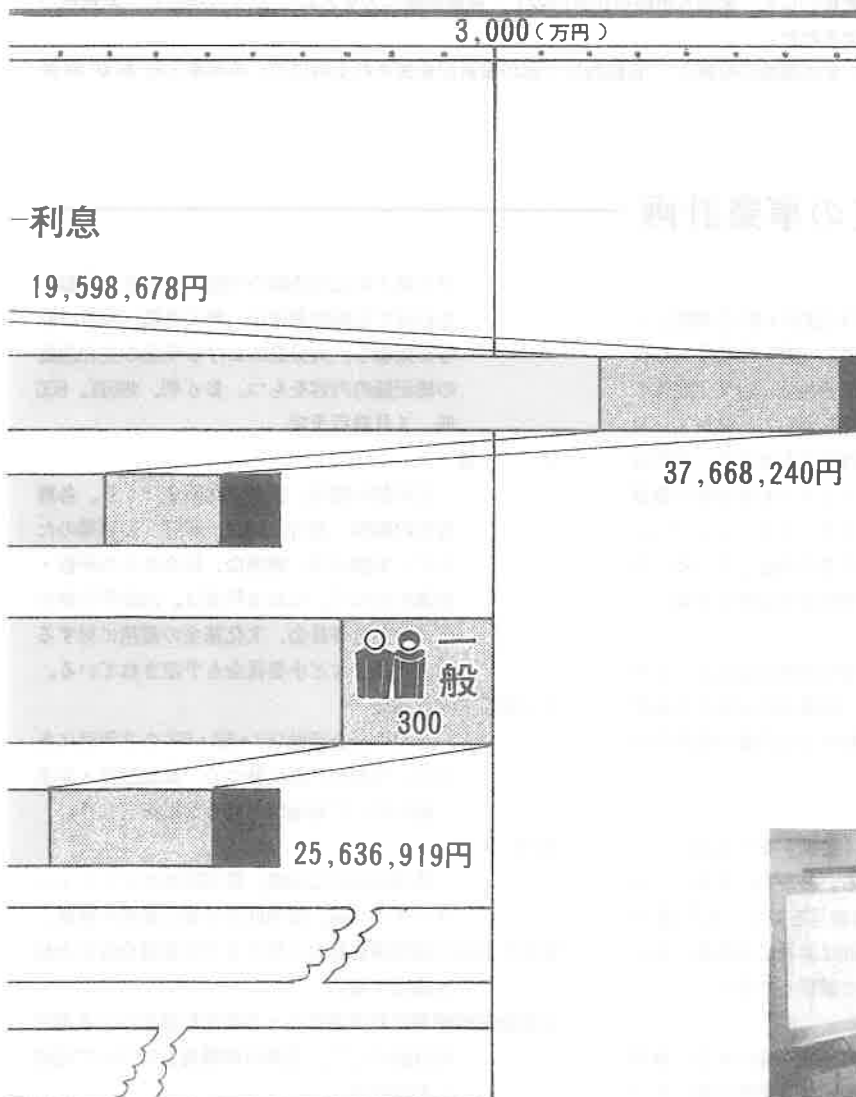
の成績に終わりましたが、県内全域にわたる市町村立学校の教職員をはじめ一般県民各位の御協力と56年度分の繰越分で3,000万円の積立は完納いたしました。あと2カ年6,000万円の取り組みは、高山画伯の御寄付等の朗報もありますが、引き続き景気の低迷するなか、相当厳しいものが予想されます。

本年度から芸術文化基金運営に向けて、芸術内部の条

件整備のための検討委員会もいよいよ発足いたします。芸術加盟団体が一致協力して目標達成のために努力することを強く要請いたします。

(芸術事務局次長 後藤 光)

対象別募金実績

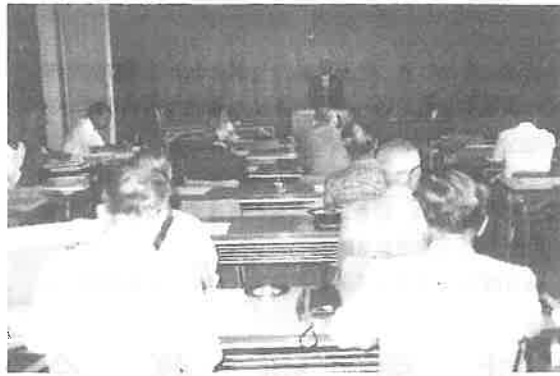


故溝辺有巢氏より500万円
と日本画の寄贈を受ける
(57.4.26)



本年度の方針決る 58年度芸術総会

6月28日(火)午前中の理事会に引き続き、午後1時より本年度の芸術会議の総会が開かれた。57年度の事業、決算、本年度の事業及び予算を満場一致で承認し、芸術文化基金の現況について報告があった。今年度の事業の中で、20周年記念行事推進や、文化基金が活用される59年度以降の芸術の組織や性格について研究する必要があるため、委員会等を設けて研究して行く態勢がきめられた。また議事のその他のところで、①文化基金の多額寄贈者(100万円以上)に対して、芸術の活動を知ってもらうため、機関紙、文化年鑑、催物などの招待券をおくる。②会費未納会員(団体・個人)について、2年間未納のものに対しては整理する。③芸術役員については全員が個人会員として登録してもらおう。また、その他の意見として、未加入市町村が多いので、啓蒙活動に力を入れ、多くの市町村に芸術加入を呼びかけてほしい、との声が出された。



狭間会長あいさつ(婦人会館)

本年は役員改選期ではないが、文化団体の役職上、自動的に一部の役員が変更されるわけで、本年度の役員が別表(P7)のように決定された。

—— 芸術本年度の事業計画 ——

第19回県芸術祭の推進

10月1日(土)～11月30日(水)を期間として、大分県芸術祭を催し(県・県教委・芸術会議・合同新聞社の四者共催)諸文化団体や個人、市町村文化活動を通して、県民文化の振興と芸術文化の質的向上をはかる。本年は開幕行事「民謡オペレッターおさん狐一豊謡会」と閉幕行事「オペラーコシファン・トッチー県民オペラ」がすでに決定している。なお、地方巡回公演は佐伯文化会館の予定。

市町村文化活動の振興

地域における芸術文化活動の現状や、芸術祭参加行事を調査し、地域文化団体との連絡を密にする中で、市町村文化活動の振興をはかる。

機関紙の発行

芸術会議の機関紙「芸術」を年3回(7月、11月、3月)発行する。B5判、8頁、1回500部。59号は総会特集号として、本年度の計画を中心に、他2回は前号に引続き、各ジャンルの特集を中心に編集して行く。

年鑑の発行

大分県文化年鑑1983年版を発行する。各部門別の年間の活動状況、県芸術祭行事、なら

びに県下の文化活動の年間のおゆみを記録しあわせて芸術加盟団体、個人名簿、役員一覧等を掲載し、大分県における年間の文化活動の総記録の内容をもつ。B6判、180頁、800冊、3月発行予定。

会 議

芸術祭の運営、芸術文化基金づくり、各種資料の編集、発行、調査、研究、表彰等のために、事務局会、理事会、総会をもち研修・協議を行なう。なお本年度は、20周年行事のための実行委員会、文化基金の運用に対する対策委員会など小委員会も予定されている。

大分県芸術文化基金

2次の募金活動(57・58・59)の2年目にあたり、当初の計画に基づく、加盟団体・企業一般に対して積極的な募金活動を行なう。

協賛事業

第15回九州芸術祭、第13回九州グラフィックデザイン展、第14回文学賞公募等の後援。20周年記念行事準備委員会・昨年までの委員会を引き続き設定する。

芸術会議組織運営対策委員会・芸術文化基金による運営を目前にして、芸術の組織運営について見直しを行なう。

57 年 度 決 算 書

収入の部

区 分	予算現額	決算額	差引増減額
補助金収入	870,000	870,000	0
県費補助金	870,000	870,000	0
会費収入	798,000	798,000	0
団体会費	660,000	660,000	0
個人会費	138,000	138,000	0
雑収入	334,079	325,500	△8,579
広告料	320,000	315,000	△5,000
預金利息	14,079	10,500	△3,579
繰越金	3,921	3,921	0
合 計	2,006,000	1,997,421	△8,579

次年度へ繰越 1,997,421 - 1,963,640 = 33,781

支出の部

区 分	予算現額	決算額	差引増減額
賃 金	450,000	450,000	0
報 償 費	155,000	155,000	0
旅 費	66,000	608,000	△5,200
需 要 費	1,154,000	1,149,150	△4,850
印刷消耗費	1,124,000	1,123,000	△1,000
食糧費	30,000	26,150	△3,850
役 務 費	97,000	96,590	△410
通信運搬費	90,000	90,000	0
手数料	7,000	6,590	△410
使用料及賃借料	17,000	16,700	△300
予 備 費	67,000	35,400	△31,600
合 計	2,006,000	1,963,640	△42,360

本 年 度 の 予 算 案

収入の部

区 分	予算額	前年度額	比較増減
補助金収入	870,000	870,000	0
県費補助金	870,000	870,000	0
会費収入	736,000	736,000	0
団体会費	600,000	600,000	0
個人会費	136,000	136,000	0
雑収入	330,219	334,079	△3,860
広告料	315,000	320,000	△5,000
預金利息	15,219	14,079	1,140
繰越金	33,781	3,921	29,860
合 計	1,970,000	1,944,000	26,000

支出の部

区 分	予算額	前年度額	比較増減
賃 金	450,000	450,000	0
報 償 費	172,500	155,000	17,500
旅 費	70,000	60,000	10,000
需 用 費	1,117,200	1,144,000	△26,800
印刷消耗費	1,087,200	1,114,000	△26,800
食糧費	30,000	30,000	0
役 務 費	108,000	97,000	11,000
通信運搬費	100,000	90,000	10,000
手数料	8,000	7,000	1,000
使用料及賃借料	20,000	15,000	5,000
予 備 費	32,300	23,000	9,300
合 計	1,970,000	1,944,000	26,000

九州に残る唯一の古代仏堂で、明治四十年五月特別保護建造物に、昭和二十七年国室に指定された。藤原時代後期の阿弥陀堂式の代表建築で、三間四面の単層宝形造り、本瓦ぶき。京都の鳳凰堂、平泉の金色堂と並び阿弥陀堂建築の代表とされる。内部は四天柱をたて、仏壇を設け、来迎壁を設ける。四天柱を堂中央ではなく、後寄りに建ち、仏壇前面を広くとるのは、平安時代の仏堂では他に例をみない。宇佐歴史民俗博物館には内部を現寸大に復写（レプリカ）したものが置かれている。



富貴寺大 堂（豊後高田市・国室）

大分の文化財 (1)

5月26日の運営協議会で、58年度の芸術祭開催要項が次のように決まった。県・県教委・芸術会議・合同新聞社の四者共催による県芸術祭も第19回を迎え、次年度20周年を記念する準備委員会からの報告もあり、県下一円における、芸術、文化的な諸活動の高まりが、定着してきていることがうかがえる。本年度は、開幕行事として、民謡の豊謡会が全国的にもはじめて取り組むという民謡オペレッタ「おさん狐」（10月1日昼夜2回公演）をはじめ、閉幕行事に県民オペラが、本格的オペラとして「コシファン・トゥッテ」を公演。話題を呼びそうである。その他、参加行事・協賛行事については例年通り、広く参加を募集している。特に市町村における文化活動の振興のため、未組織の市町村にも働きかけ、県民文化活動の底辺の拡大をはかることを申し合わせた。芸術祭に参加していない市町村の積極的な文化面への取り組みが期待される。申し込みは8月5日（申入書を添えて）まで、県教育庁、文化課へ。

第19回県芸術祭

開催要項決まる

期日・10月1日(土)～11月30日(水)

部 門

文芸・美術・音楽・能楽・舞踊・演劇・映画放送・
児童文化・生活芸術・総合・その他

行事の種類と実施方法

行事は開幕・閉幕・共催・参加（特別参加）および協賛行事とする。

- ① 開幕・閉幕行事——主催者が直接主催する行事
- ② 共催行事——主催者と当該主催団体が共催する行事
- ③ 参加（特別参加）行事——参加規則に基づいて芸術祭に参加を希望するもので、芸術祭運営協議会が参加行事として認めたもの。
- ④ 協賛行事——上記①②③に該当しない行事
 - ア 大分県芸術祭運営協議会規約および大分県芸術祭参加規約による。
 - イ 参加行事および協賛行事に要する経費は、当該主催者または主催団体が負担するものとする。
 - ウ 参加行事は、芸術祭主催者の後援名義の使用を認める。
 - エ 参加行事については、芸術祭ポスター、プログラムに掲載する。

頭 彰

芸術祭に貢献し、芸術文化の向上に寄与したものに

昨年度の芸術祭賞等表彰式から



対し、次のとおり顕彰する。

- ① 芸術祭賞—芸術祭諸行事で特にすぐれているもの
- ② 功労賞—芸術祭の充実と発展に功労のあったもの
- ③ 新人賞—芸術祭の発表活動において、新人としてきわめてすぐれた発表を行なったもの
- ④ 感謝状
 - ア 特別感謝状—芸術祭の充実と発展に貢献したものの
 - イ 感謝状—芸術祭に参加し、芸術文化の向上に寄与したものの

そ の 他

参加申込みについては、定められた申込用紙に必要事項を記入し、58年8月5日（金）までに、県教育庁管理部文化課まで申込むこと。

参加行事は常時自主的な文化活動を続けているもので、芸術祭にふさわしい内容を持ち、意欲的なものとする。

参加行事の可否については、芸術祭運営協議会で諮問の上、その結果を申込者に通知する。

参加行事は、ポスター、プログラム、案内状等に、「第19回芸術祭参加」と表示するものとする。

参加行事の主催者は、終了後すみやかに、事業報告書に関係資料を添え、文化課に報告するものとする。

本年度芸術役員・事務局員名簿

※役職等の関係で下記のように本年度の役員が一部変更されました。

役職名	氏名	団体名	住所	〒	TEL
顧問	井村 洋一		大分市		
〃	河野 彰		大分市		
〃	佐藤 義詮		別府市		
〃	米山 貞一		別府市		
会長	狭間 正年		大分市		
副会長	辛島 武雄		大分市		
〃	浜田九一郎		大分市		
〃	佐藤 敏夫		大分市		
〃	宮崎 豊		大分市		
監事	小長 久子		大分市		
〃	田村 卓夫		大分市		
理事	江藤 豊南	別府民踊百踊会事務局長	別府市		
〃	遠藤 梢山	県三曲協会会長	大分市		
〃	大崎 聡明	県美術協会副会長	大分市		
〃	岡 博	大分市教委社会教育課長	大分市		
〃	木村 成敏	県文化団体連絡協議会理事	大分市		
〃	倉田 紘文	県俳句連盟理事	別府市		
〃	菅 久	県芸術協議事務局担当	大分市		
〃	關田 喜平	県民踊連盟副会長	大分市		
〃	平 俣収	県立芸術会館副館長	大分市		
〃	中沢とおる	県民演劇制作委員長	大分市		
〃	中野 幸和	県職場音楽連盟理事長	別府市		
〃	仲町 謙吉	県美術協会副会長	大分市		
〃	羽田 春嶽	県美術協会副会長	別府市		
〃	波多野 義孝	県宣伝美術協会会長	大分市		
〃	狭間 久	大分合同新聞文化部長	大分市		
〃	花柳昌吉郎	県日本舞踊連盟代表	大分市		
〃	樋口 愁枯	県洋舞踊協会会長	日田市		
〃	深田 光靈	日本詩道会会長	大分市		
〃	丸岡 久	大分音楽友の会会長	大分市	一ト	
〃	三河尻修二	県児童文化研究会会長	大分市		
〃	宮崎寛一郎	大分合同新聞文化部長	大分市		
〃	宮崎吞多士	大分合同新聞文化センター	大分市		郡社内
〃	山住 久	県歌人クラブ事務局長	大分市		
〃	脇 正人	県美術協会事務局長	大分市		
事務局長	秋吉 辰郎	県教委文化課課長	大分市		
次長	後藤 光	県教委文化課課長補佐	別府市		
〃	藤原 嘉久	県層雲会 員	大分市		
〃	十時 良	県美術協会 委員	大分市		
事務局職	岩並 利夫	県教委文化課主幹	大分市		
〃	佐藤 七夫	県教委文化課係長	別府市		
〃	辛島 光義	県音楽協会 員	大分市		
〃	日名子金一郎	県美術協会 委員	大分市		
〃	丸尾 輝彦	県立芸術会館庶務係長	大分郡桂		

事務局 大分市府内町3丁目10番1号 (〒870)

大分県教育庁管理部文化課内 TEL 0975 36-1111 内線 4272

れんさい

大分県演劇のあゆみ (最終回)

中 沢 とおる

大分県民演劇の初演作「沈んだ島の物語」は、大分労演第一回創作劇として上演された。翌年、演劇創造集団として独立「大友宗麟」を舞台にのせて以来(四十九年十一月)十年間、豊後みゅーじかる「炭焼長者・臼杵石仏物語」まで十四本、郷土を素材にした創作劇を上演しつづけてきた。県芸術祭上演作品が主であるが、県立芸術会館主催の創作実験劇場にも参加した。一作品は二時間及至三時間の大作。十年間で延三万三千人が観劇している。県芸術祭賞・功労賞・新人賞を数多く受賞し、昨年私は、大分合同新聞文化賞特別功労賞受賞の栄に浴した。

NHK大分放送局から九州劇場として全九州むけに四本、OBSから二本、創作ラジオドラマを放送、OBSは県芸術祭上演作品を、毎年正月番組として放映している。

多くの人の要請に応え、五十三年に「演劇教室」を開講した。一年単位で卒業公演を対外的に発表し、若者を軸にした演劇人育成の裾野を広めている。三期までの卒業生は七十八名。現在四期生が受講中である。NHK長時間ドラマ「みちしるべ」をはじめ、松竹映画、黒沢明プロダクションなど、映画・テレビの出演依頼も多くなり頑張っている。

上演作の戯曲は殆ど私の作だが、一昨

年から劇団文芸部若手作家の作品舞台化も始めた。

劇団には会長制をおき(初代・松田正義氏、現・高橋寿満氏)、顧問制をしき(宇治山哲平画伯、朝来野元生大分合同新聞社編集局長他二十名)、次回作検討や作品批評をおこなっている。

初演作より、音楽・舞踊・装置・照明など、他ジャンルの方々と交流した舞台づくりを進めてきた。昨年のミュージカル挑戦に、それが大きく結実した。いずみたく氏の他、前進座、青年劇場、大橋喜一氏(劇作家・民芸)、榎本茲民氏(劇作・演出家)など、中央一流演劇人の御援助は、十年間のハイレベル作品づくりで大きな要因となっている。

ふるさとを題材にした舞台が、これらの多彩な力で創れるところに県民演劇の命がある。これだけの内容をもった地方演劇は全国にはない。演劇はハイカラ好みの飾りものではない、社会の発展とともに生きるふるさととの重要な文化財だ。劇団員四十六名。泥と汗にまみれたアンサンブルは「新しい地方の芸術運動が方向づけられた」(朝日)というように、いま全国の視野からみて、地方演劇の一つの典型をうみだしたと自負している。(了)

(県民演劇制作委員長・芸振理事)

文化ニュース

□大分芸術会館催物

- 8月9日～14日 大分国画写真展
- 8月16日～19日 平和美術展
- 8月23日～28日 リブの会展
- 8月23日～28日 大分二紀展
- 8月30日～9月4日 大分自由美術展
- 8月30日～9月4日 熊井恭子造形展
- 8月18日 舞台技術研修会「音響」
- 8月23日 芸館創作実験劇場 「パフォーマンス・ビッグン」
- 8月25日 芸館創作実験劇場 「サマー・ドリーム」
- 8月26日 芸館創作実験劇場 「寿歌」
- 8月30・31日 日本フィル夏休み親子コンサート
- 9月10日～10月10日 朝倉文夫展

9月10日 本間正義氏(埼玉県立美術館長、朝倉彫塑館理事長)による講演会

9月24日 58年文化庁移動芸術祭 オペラ・セビリヤの理髪師

8月2日～9月4日 芸館58年度所蔵品展Ⅱ(後期)

9月19日～10月2日 大分県在住作家個展

絵画教室のご案内

		PM	PM
水彩画教室	火曜	1:00～	3:00
油絵教室 A	水曜	10:00～	12:00
〃 B	金曜	7:00～	9:00
日本画教室	土曜	2:00～	5:00
子供絵画教室	土曜	1:30～	4:30
美術コース(受験生)	日曜	10:00～	4:00
墨絵教室	日曜	10:00～	12:00

☑ 会場と連絡先 大分造形美術研究所
☎ 45-3432 大分市東大道2丁目 コトブキヤ内